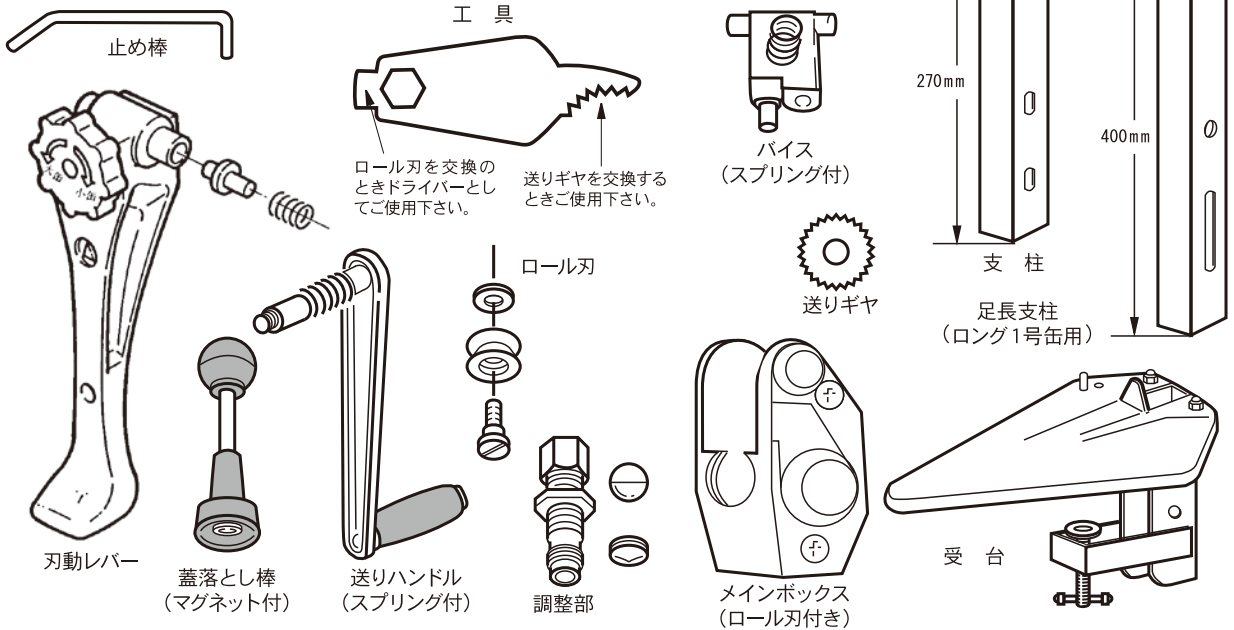


# チャンピオン缶切機S-I 交換部品表



## 切れ味調整の仕方

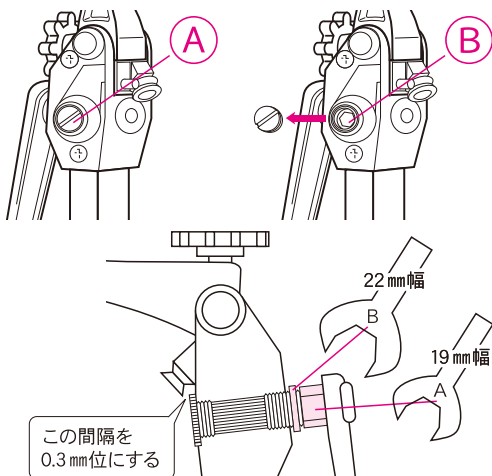
### 送りハンドルが空廻りして切れない場合

- ①微調ツマミを小缶方向へ1目盛りずつ廻すとロール刃と送りギヤとの間隔が狭まりますので、空廻りせず切れる位置に合わせて下さい。
- ②上記を実施しても空廻りする場合は、調整部(送りギヤ)を前に出し、ロール刃と送りギヤとの間隔を狭めて下さい。(下図参照)

### 送りハンドルが重い時

- ①微調ツマミを大缶方向へ1目盛りずつ廻すとロール刃と送りギヤとの間隔が広がりますので、スムーズに切れる位置に合わせて下さい。
- ②上記を実施しても重い場合は、調整部(送りギヤ)を後ろに下げて、ロール刃と送りギヤとの間隔を広げて下さい。(下図参照)

### 調整部(送りギヤ)の調整方法



- ①(A)の調整ネジ止蓋をマイナスドライバーで外して下さい。
- ②(B)の調整ネジ止を8mmの六角レンチで緩めて下さい。緩めることにより、調整部を前後させることが可能になります。
- ③スパナBで六角リングを緩め、3回り程度後ろに下げて下さい。
- ④スパナAで六角ナットを右方向に回すと送りギヤが前に出て、左方向に回すと送りギヤが後ろに下がります。
- ⑤ロール刃と送りギヤの間隔を目安0.3mm位に設定して下さい。但し、缶の巻締め部の厚みが薄い輸入缶の場合は0.2mm程度、厚い輸入缶の場合は0.4mm程度(目安)で設定して下さい。
- ⑥設定後、スパナAで六角ナットを固定し、スパナBで六角リングを本体側に締め付けて、調整部が動かないよう固定して下さい。
- ⑦開缶作業を行い、問題があるようなら③～⑥を再度実施して下さい。
- ⑧調整後はネジ止を締め、調整部を固定し、ネジ止蓋を取り付けて下さい。

※製品改良の為、予告なく仕様および外観を変更することがありますので、予めご了承下さい。